

# おひざにだつこのえほん

—2・3歳向け—



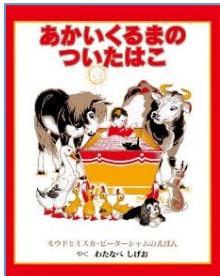
相模原市の図書館



2歳、3歳頃になると、話す言葉も日に日に増え、自分や家族だけでなく、まわりのいろいろな人や物に興味が出てきます。また、自分でやりたい気持ちが強くなり、自分でできたことに満足します。

そうした時期の子どもたちに合わせ、このリストでは、日常生活に繋がる身近な内容のものや、言葉の繰り返しやリズムが楽しいもの、簡単なおはなしの絵本を集め、五十音順に紹介しています。子どもたちは、絵本の中に自然に入り込み、いろいろな体験をすることでしょう。気に入った本は読むたびにわくわくするものです。「また同じ本」と思わず何度も読んであげてください。



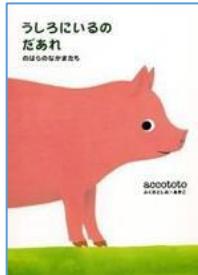


## あかいくるまのついたはこ

モウドとミスカ・ピーターシャム／作  
わたなべしげお／訳 童話館出版

庭に赤い車のついた箱が置いてありました。動物たちは次々とやってきて中を覗いていきます。その箱の中にいたのは……。

牧歌的な風景の中でくり広げられる動物と赤ちゃんの心あたまる絵本です。



## うしろにいるの だあれ のはらのなかまたち

accotto (ふくだとしお+あきこ)／著  
幻冬舎

ぶたくんの後ろにいるのはひつじくん、その後ろにいるのはうしさん。うしさんの後ろにいるのはだあれ？かわいい動物たちが次々登場。次はだれかな？と考えながらページをめくるのが楽しくなります。新風舎版もあります。副題は「のはらのともだち」。



## アンガスと あひる

マージョリー・ブラック／作・絵 濑田貞二／訳  
福音館書店



アンガスはとても好奇心が強い犬です。ある日、生け垣の向こう側に出るとあひるがいました。アンガスは水飲み場であるひるに吠えてました。

向う見ずなアンガスと、力を合わせたあひるの作戦は何回読んでも楽しくなります。



## うずらちゃんのかくれんぼ

きもとももこ／作 福音館書店



うずらちゃんとひよこちゃんが、かくれんぼをしています。うずらちゃんは、自分ともようの似た花の中にかくれます。

色鮮やかな絵と、うずらちゃんとひよこちゃんの動きが魅力的です。



## うさこちゃんと ゆうえんち

ディック・ブルーナ／文・絵 いしいももこ／訳  
福音館書店



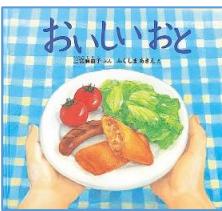
うさこちゃんは家族と一緒に遊園地におでかけです。ブランコやつり輪、鉄棒と、色々な遊具で遊びます。さあ、次は何をしましょう？

はっきりとした色とキャラクターが人気の「うさこちゃん」シリーズの一冊です。



## おいしい おと

三宮麻由子／文 ふくしまあきえ／絵 福音館書店



春巻きにほうれん草、白いご飯にかぼちゃなど、食べる時の“おいしいおと”が擬音で表現されています。繊細に描かれた絵と擬音が合わさって、料理はますますおいしそう！

お子さんと一緒に、声に出て読みたい絵本です。





## おおきくなりたい こりすのもぐ

征矢清／文 夏目義一／絵 福音館書店

こりすのもぐは、初めてひとりで食べ物を探しにでかけます。木の芽やどんぐりなどを見つけて食べるたびに「おおきくなったでしょ」とうれしそう。そんな愛らしいもぐの表情が、生き生きと描かれています。



## おおきなかぶ

A.トルstoi／再話 内田莉莎子／訳 佐藤忠良／画 福音館書店

おじいさんが大きなかぶをぬこうとしましたが、なかなかぬけません。そこで、おばあさんをよんできます。それでも、かぶはぬけなくて……。

「うんとこしょ どっこいしょ」のかけ声が楽しいロシアの昔話です。



## おおきなのはら

ジョン・ラングスタッフ／文 フョードル・ロジヤンコフスキイ／絵 さくまゆみこ／訳 光村教育図書

大きな野原で動物の親子が遊びながら学んでいます。カメは穴を掘る練習をし、キツネはかけっこ練習をし、他の動物もいろいろな練習をしています。

1匹、2匹、3匹……と知らないうちに数に親しむこともできる絵本です。



## おっとと

とよたかずひこ／著 岩崎書店

お父さんに肩車をしてもらったしろくまくん。ちょっと怖いけれど楽しい、ドキドキワクワクする様子が伝わってきます。「おっとと」とリズムのある言葉を通して、親子のふれあいがほのぼのと描かれています。



## おにぎり

平山英三／文 平山和子／絵 福音館書店



ご飯を炊いて、おにぎりを作ります。手のひらでぎゅっぎゅっくるっ、ほら、できました！

アツアツのご飯でおにぎりを作る様子が本物のように描かれています。湯気や温度まで感じられそうな一冊です。



## おふろで ちゃぶ ちゃぶ

松谷みよ子／文 いわさきちひろ／絵 童心社

あひるちゃんが、タオルとせっけんを持ってお風呂に行きます。「まってまって」と、ぼくもセーターをぬいで、パンツもぬいで……。

あたたかみのある、いわさきちひろさんの水彩画が印象的です。





## おやすみなさい おつきさま

マーガレット・ワイズ・ブラウン／作  
クレメント・ハード／絵 せたていじ／訳 評論社

こうさぎが眠る準備を始めました。だんだんと暗くなる部屋の中で、目に見えるものすべてに「おやすみなさい」とあいさつをします。  
おやすみ前の子どもに、ゆっくり読みたい絵本です。



## おやすみなさい コッコさん

片山健／作・絵 福音館書店

夜になってもなかなか眠らないコッコさんに、お月さまがやさしく語りかけます。  
お月さまとコッコさんのくりかえしの会話が心地よく、寝る前におすすめです。



## きつねとねずみ

ピアンキ／作 内田莉莎子／訳 山田三郎／絵 福音館書店

きつねがねずみをねらっています。けれども賢いねずみは、そしらぬふりで巣穴をどんどん掘り進めます。  
緊張感あふれる場面が、テンポのよいやりとりで楽しめます。



## きょうりゅう きょうりゅう

バイロン・バートン／作・絵 なかがわちひろ／訳 徳間書店

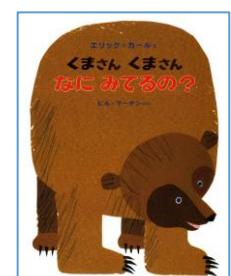
大昔、地球にはいろいろな種類の恐竜がいました。角がはえていたり、しっぽにこぶがついていたり、背中にひれがあったり。  
広い大地の中で恐竜が暮らす様子が、鮮やかな色で描かれています。



## きんぎょが にげた

五味太郎／作 福音館書店

赤いきんぎょが、水槽から逃げ出しました。  
きんぎょはどこへいったのでしょうか？ カーテンの中？  
キャンディーのびんの中？  
子どもたちが大好きな絵探し絵本です。



## くまさん くまさん なに みてるの？

エリック・カール／絵 ピルニマーチン／文  
偕成社編集部／訳 偕成社

色鮮やかな動物たちがページをめくごとに登場します。紙面いっぱいに描かれた迫力のある絵と、リズミカルなフレーズの繰り返しで、目と耳で楽しめる絵本です。





## くまのティディちゃん

グレタ・ヤヌス／作 ロジャー・デュボアザン／絵  
湯沢朱実／訳 こぐま社

黄色いつりズボンや小さな白いエプロンなど、ティディちゃんのお気に入りの物が、見開きごとに紹介されています。

自分のお気に入りが出てくる時期のお子さんに、ぴったりな絵本です。



## サンドイッチ サンドイッチ

小西英子／作 福音館書店

表紙をめくると、おいしそうなパンがたくさん！ サンドイッチを作る様子が色鮮やかに描かれ、ページをめくるのが樂くなります。みずみずしい食べものの絵に、子どもたちは思わず手をのばしてしまうかもしれません。

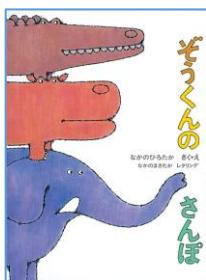


## しろくまちゃんのほっとけーき

森比左志・わだよしみ・わかやまけん／著  
こぐま社

しろくまちゃんがホットケーキを作ります。卵を割って、材料をまぜて、フライパンで焼いていきます。

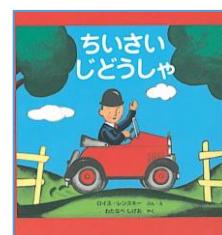
ホットケーキの焼ける様子が順番に描かれていて、いいにおいがしてきそうです。



## ぞうくんのさんぽ

なかのひろたか／作・絵  
なかのまさたか／レタリング 福音館書店

ぞうくんが散歩でかけると、友だちに次々と出会います。かばくん、わにくん、そしてかめくんと順々に背中ののっていきます。次はどうなるのか気になって、最後まで目がはなせません。



## ちいさい じどうしゃ

ロイス・レンスキー／文・絵  
わたなべしげお／訳 福音館書店

スマールさんご自慢の小さい自動車は、赤くてぴかぴか。そんな大切な自動車と過ごす、スマールさんの一日が描かれています。

絵と言葉がとてもシンプルで、子どもたちはお話に自然に入っていきます。



## ちいさな ねこ

石井桃子／作 横内襄／絵 福音館書店

好奇心旺盛な小さなこねこが部屋を飛び出しました。自動車にひかれそうになったり、大きな犬に追いかけられたり。

冒険するこねこに、読んでいる子どもたちはハラハラドキドキします。





## ちびゴリラのちびちび

ルース・ボーンスタイン／作 いわたみみ／訳  
ほるぷ出版

ジャングルに暮らすちびちびは、みんなの人気者。家族はもちろん、でっかいヘビも、ライオンのおじさんも、ちびちびが大好きでした。けれど、ある時からちびちびがどんどん大きくなり始め……。  
動物たちの表情豊かな絵もお楽しみください。



## つみきでとんとん

竹下文子／文 鈴木まもる／絵 金の星社

つみきを並べて何ができるかな？ 子どもたちはベンチ、きりん、車とどんどん作っていきます。  
できあがっていく様子も楽しく、リズミカルな文章は何度も声に出して読みたくなります。



## てぶくろ

エウゲーニー・M・ラショフ／絵  
うちだりさこ／訳 福音館書店

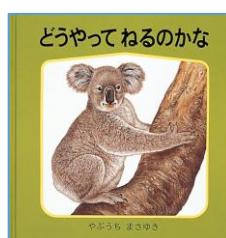
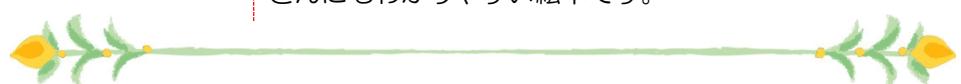
雪の中におじいさんが落としていった片方のてぶくろ。そこにねずみが暮らし始めます。かえるも加わりました。次はうさぎが……。てぶくろはどうなってしまうのでしょうか？ ウクライナの民話をもとにした絵本です。  
細かく書き込まれた絵はとても美しく、想像力をかきたてられます。



## でんしゃ

バイロン・バートン／作・絵 こじまもる／訳  
金の星社

線路の上を電車が走っています。中には、お客様がいっぱい。電車はトンネルから出てきて、街の中を走ります。  
はっきりした線と色づかいで描かれていて、小さいお子さんにもわかりやすい絵本です。



## どうやって ねるのかな

やぶうちまさゆき／作 福音館書店

シマリス、コウモリ、フラミンゴ、ラッコなど様々な動物の寝ている様子がリアルなタッチで描かれています。  
動物たちの意外な寝姿を見ながら、お子さんと会話が弾みそうです。



## とっくん トラック もりへ ぶぶー

いわむらかずお／作・絵 ひさかたチャイルド

とっくんはたくさんの木の実を拾い、おもちゃのトラックにのせ、ぶぶーと森を歩いて行きます。切り株に木の実を並べてお店を開くと、動物たちが次々とやってきました。

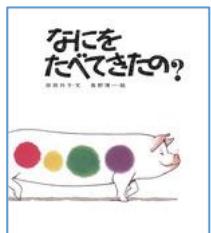
とっくんと動物のかけ合いが楽しいお話です。





## なにを たべてきたの？

岸田衿子／文 長野博一／絵 佼成出版社



おなかをすかせたしろぶたくん。次々に果物を食べると、おなかに果物と同じきれいな色があらわれます。最後にせっけんを食べたしろぶたくんはどうなるでしょう？  
ほのぼのとしたしろぶたくんの絵から、楽しい想像がふくらみそうです。



## ねずみの いえさがし

ヘレン・ピアス／作 まつおかきょうこ／訳 童話屋



ねずみが家を探しています。植木鉢の中、暖炉のそば、バケツの中、なかなかぴったりの家が見つかりません。そしてついに見つけた家は……。  
いろいろな場所に入っては自分の家を探すねずみの様子が、写真でリアルに描かれています。



## ねんねん ねこ ねこ

ながのひでこ／作・絵 アリス館



お昼寝が嫌いなこねこは、ふとんを抜け出しておうちの外へ。ボールやトンボを追いかけて行くとあら大変、水たまりに落ちてしまいます。  
「ねんねん ねこ ねこ」とリズミカルな文章を楽しみましょう。



## はっぱのおうち

征矢清／作 林明子／絵 福音館書店

さちが庭で遊んでいると雨がぽつんと降ってきました。  
はっぱの屋根のおうちに入ると、虫たちが次々にやってきます。

つかの間の雨宿りで、さちが虫たちと仲良くなっていく様子が微笑ましいです。



## はなを くんくん

ルース・クラウス／文 マーク・シーモント／絵 きじまはじめ／訳 福音館書店



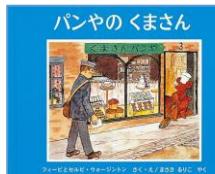
寒い冬です。雪深い森の中、眠っていた動物たちが、いっせいに目をさまし、はなをくんくんさせながらかけていきます。みんなが止まったところには……。

春を待ちこがれる季節に読みたい一冊です。



## パンやの くまさん

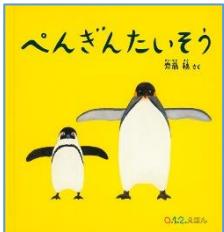
フィービとセルビ・ウォージントン／作・絵 まさきるりこ／訳 福音館書店



朝早く起きてかまどでパンを焼き、車で売りに行った後はお店番もする。そんなパンやのくまさんの日常がていねいに描かれています。

ぬいぐるみのようなくまさんの絵と、きっちりとした動きぶりが子どもたちの心をひきつけます。





## ぺんぎんたいそう

齋藤楨／作 福音館書店

水族館や動物園で人気者のぺんぎん。そのかわいらしい動きを体操に見立てた絵本です。  
2匹のぺんぎんが「いきをすって～ はいて～」。  
読むと思わず一緒に体を動かしくなります。



## もりのおふろ

西村敏雄／作 福音館書店

森のお風呂に、次々と動物たちがやってきて体を洗い始めました。ライオンはゾウに、ゾウはワニに、ワニはブタに背中を洗ってもらいます。みんなで輪になって「あぶく ぶくぶく ごしごし しゅっしゅ」。  
テンポの良いユーモアたっぷりのお話です。



## ロージーの おさんぽ

パットニハッチンス／作 わたなべしげお／訳  
偕成社

めんどうりのロージーが散歩をしています。後ろからキツネがねらっていることにロージーは気づいていません。  
スリル満点！失敗ばかりのキツネの様子は、絵をじっくり見て、楽しんでください。



## わたしと あそんで

マリー・ホール・エッツ／文・絵  
よだじゅんいち／訳 福音館書店

野原で女の子が、バッタやかえるやりすに「あそびましょ」と声をかけます。でも、みんな逃げて行ってしまったので、しかたなく池のそばでじっとしていると……。  
柔らかなタッチの絵と幸せな結末に、あたたかさを感じるお話です。

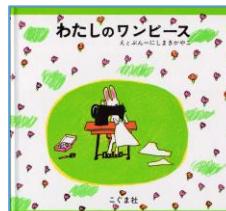


## わたしのだいすきなどうぶつは…

フローラ・マクダナル／作 こだまともこ／訳  
富山房

女の子は農場で暮らす動物たちが大好き。いぬ、あひる、ろば、ぶた、うまなどがそれぞれ見開きいっぱいに登場します。

最後のページでは動物たちも女の子が好きなんだなと感じられます。生きものに興味を持つきっかけづくりに！



## わたしのワンピース

にしまきかやこ／絵・文 こぐま社

空から落ちてきたまっ白な布でうさぎがワンピースをぬいました。それを着て散歩にてかけると、お花や水玉など次々にワンピースのもようが変わっていきます。  
読んだあと、お子さんにどんなもようが好き？と聞いてみるのもいいですね。



# おはなし会のご案内

図書館では2・3歳のお子さんに向けた「おはなし会」を開催しています。絵本や紙芝居を読むだけでなく、手遊びをしたりわらべうたを歌ったり……。一緒に楽しいひとときを過ごしてみませんか？ 詳しくは各図書館にお問い合わせください。

## 市立図書館

### うさこちゃんのおはなし会

毎月第1・3水曜日

①午前10時30分～②午前11時15分～

※2回とも同じプログラム

会場：1階 じゅうたんコーナー

## 市立図書館相武台分館

### 水よう日のおはなし会

毎月第1・3水曜日

午前10時30分～（祝日と8月を除く）

### 土よう日のおはなし会

毎月第2・4土曜日

午前10時30分～ 会場：集会室

## 相模大野図書館

### おててつないでのおはなし会

毎月第1・3水曜日（祝日と8月を除く）

①午前10時30分～②午前11時～※2回とも同じプログラム

### サタデーおはなし会

毎月第2・3・4土曜日（祝日と8月を除く）

午後3時～ 会場：4階 こどもの本のフロア おはなしの部屋

## 橋本図書館

### たんぽぽおはなし会

毎月第1・3水曜日（8月を除く）

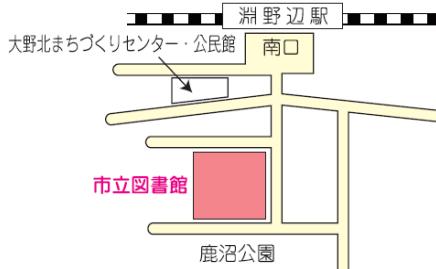
午前10時～ 会場：こどものほんのコーナー おはなしのへや

## 図書館案内



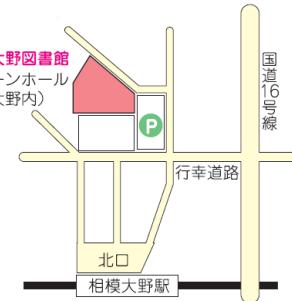
### 市立図書館

中央区鹿沼台2-13-1  
042-754-3604



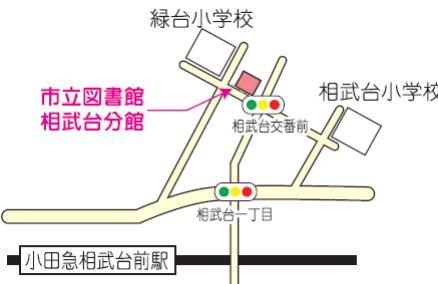
### 相模大野図書館

南区相模大野4-4-1  
042-749-2244



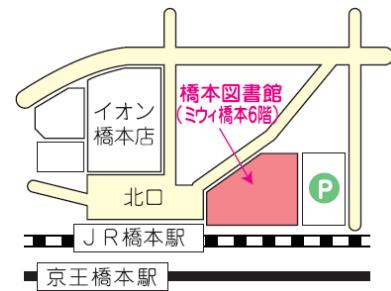
### 市立図書館相武台分館

南区新磯野4-8-7  
046-255-3315



### 橋本図書館

緑区橋本3-28-1  
042-770-6600



### 開館時間

火～金 午前9時30分～午後8時

土・日・休日 午前9時30分～午後6時

※相模大野図書館4階こどもの本のフロアは

火～日・休日 午前9時30分～午後6時

※市立図書館相武台分館は

火～日・休日 午前9時～午後5時

### 休館日

月曜日（その日が休日の場合は翌日）

図書整理日・蔵書点検期間・年末年始

詳細については各図書館にお問い合わせください。

図書館の HP、フェイスブック、X は  
こちらの QR コードからアクセスできます



相模原市の図書館  
ホームページ



相模原市の図書館  
Facebook



相模原市の図書館  
X

図書館の HP はこちらからもご覧いただけます

<https://www.lib.sagamihara.kanagawa.jp>

発行 令和6年4月  
発行者 相模原市の図書館